

124	<p>県民と直接対話できるよう「どこでも知事室」を開催します。</p>	<p>県民本位の県政をより一層推進するため、県民との直接対話を重視した「どこでも知事室」を実施します。 (県民生活部)</p>
125	<p>なお、県庁舎建て替え議論は「県民参加」を重視し、多様な県民のニーズを把握し、慎重な検証を重ねていく。そのため、1期4年の間に具体的な建て替えに向けた工事には着手はしない。</p>	<p>県民参加の議論を行うには前提として現状の評価・分析が必要となるため、まずは、現庁舎の建築環境性能評価や劣化診断を実施した上で、県庁舎のあり方や必要な機能について分析を行います。 県庁舎の再整備における議論や検討状況の資料などを積極的にホームページ上に公開し、透明性を高めます。 (総務部)</p>
126	<p>行政の努力により削減された固定費は翌年に当該部局の予算として認め、経費削減に努めます。</p>	<p>事務事業の見直しの成果が、各部局の予算に適切に反映できるような仕組みの検討を通じ、経費の削減に努めます。(企画財政部)</p>
127	<p>行政の施策の目的と期待される効果を基にPDCAサイクルをまわします。</p>	<p>県政運営の基本となる5か年計画や行財政改革プログラムに位置付けられているPDCAサイクルにより、着実に県政運営を推進します。 (企画財政部)</p>